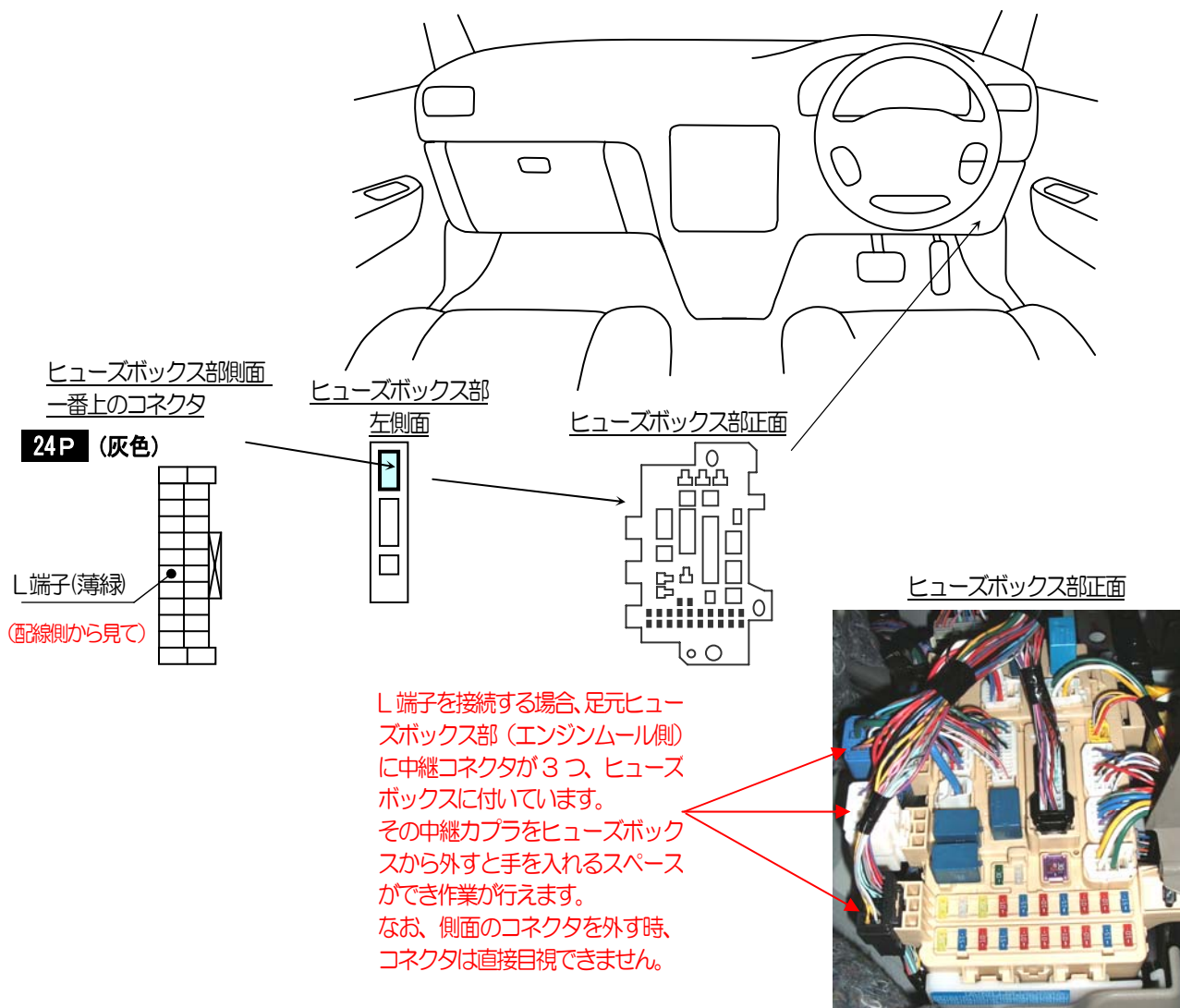


VE-Eim シリーズ専用車種別接続情報

管理 No. SK-0010 (1/7)

メーカー	スズキ	車体型式	MF33S
車種	MRワゴン (MRワゴン エコ含む) プッシュスタート装備車	年式	H23.1~H25.7
専用ハーネス	S-117 & SIM-001		

- VE-Eim シリーズ取り付け用の接続図です。
VE-Eim ** 以外のエンジンスタターは接続情報が異なります。
- プッシュスタート無し車は、VE-Eim シリーズのエンジンスタターは取付できません。
- ターボタイマー機能は、使用できません。
- ドアロック制御の取り付けはできません。
エンジンスタターでのアイドリング中は、純正キーレスでのロック/アンロック操作ができません。
車輦に乗車する際は、一旦リモコン操作でエンジンを停止させてください。



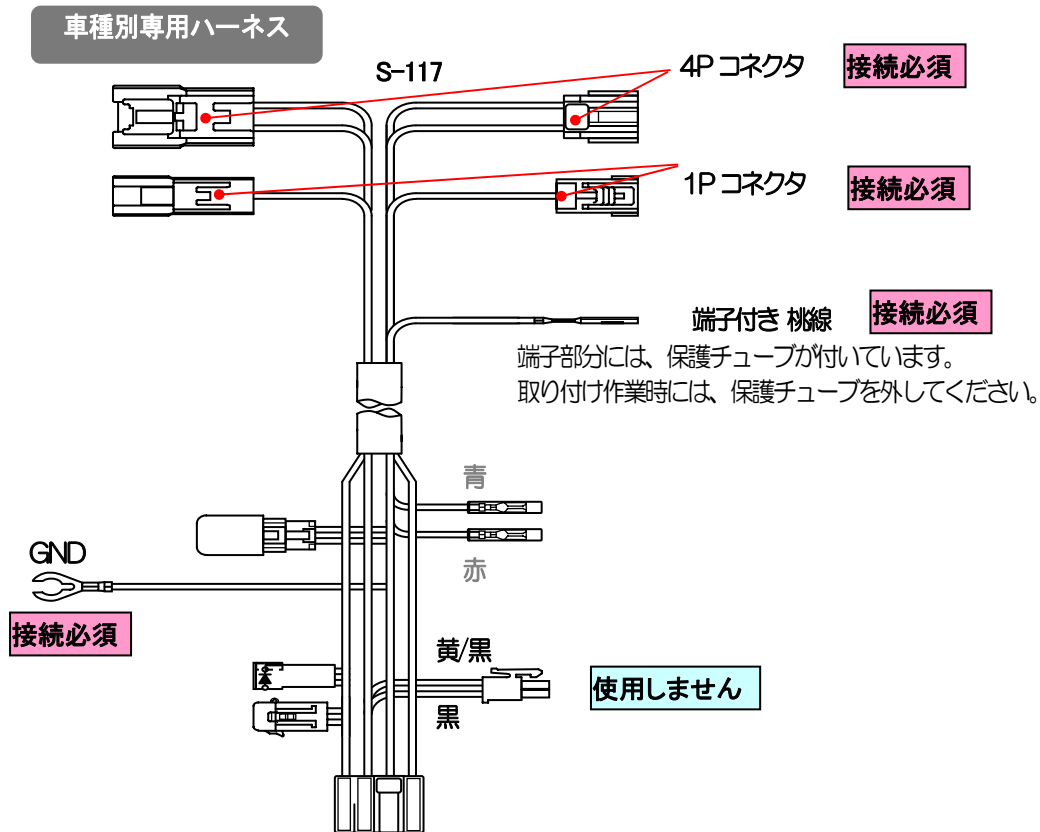
YUPITERU

Y13-0719

※ 車両によっては、上記の内容と異なる場合があります。取り付けの際は、必ず電圧などの確認を行ってください。

メーカー	スズキ	車体型式	MF33S
車種	MRワゴン (MRワゴン エコ含む) プッシュスタート 装備車	年式	H23.1~H25.7
専用ハーネス	S-117 & SIM-001		

S-117 の接続



接続手順

S-117 の取り付け手順 (接続先は運転席足元ヒューズボックス部内となります)

1. S-117 の 1P コネクタと 4P コネクタの接続
2. S-117 の端子付き 桃色線の接続 の順に作業を行ってください。

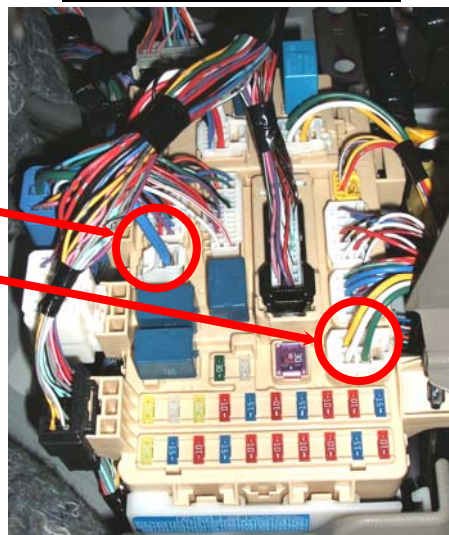
1. S-117 の 1P コネクタ、4P コネクタの接続について

S-117 1P コネクタ接続先

S-117 4P コネクタ接続先

S-117 の 1P コネクタ、4P コネクタは、
車輻のコネクタを外し、間に割り込ませ
接続します。

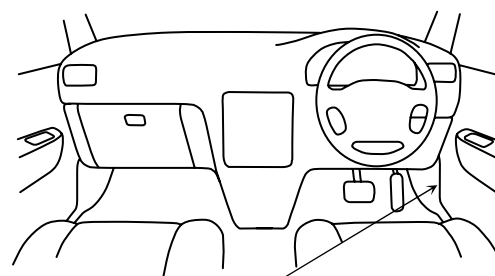
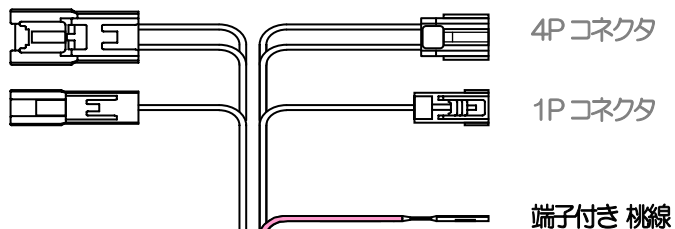
運転席足元のヒューズボックス部



メーカー	スズキ	車体型式	MF33S
車種	MRワゴン (MRワゴン エコ含む) プッシュスタート装備車	年式	H23.1~H25.7
専用ハーネス	S-117 & SIM-001		

2. S-117の端子付き桃色線の接続について

車種別専用ハーネス



運転席足元のヒューズボックス部

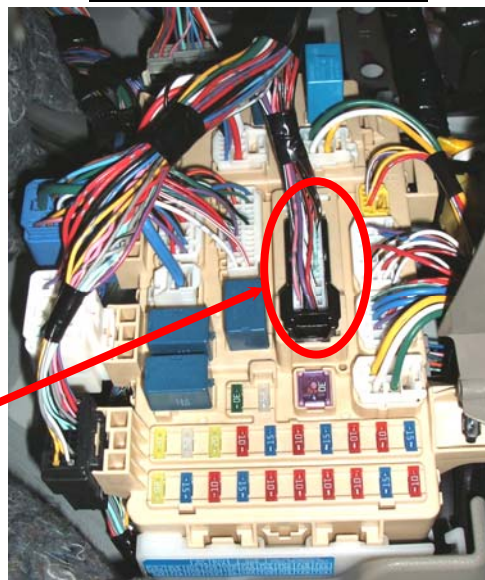
S-117 端子付き桃線の接続について

右記写真の (レバー付き) コネクタに配線を接続します。
下記の手順でコネクタに配線を差し込む準備を行います。

作業手順

- A. レバーを引き起こし、コネクタを外す
- B. レバー部分をコネクタから外す
- C. コネクタ (側面) のリテーナーを浮かす
- D. S-117の端子付き桃線をコネクタに差し込む
- E. 外した手順と逆の手順で元に戻す

S-117 端子付き桃線の接続先
(レバー付きコネクタ)

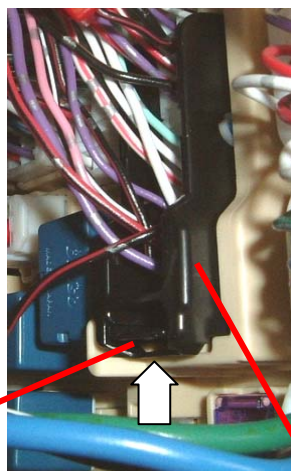


← エンジンルーム側

A. レバーを引き起こし、コネクタを外す

レバーのロックを (写真矢印の方向に) 外しながら、レバーを約45度まで起こします。
コネクタをヒューズボックス部から取り外します

ロック

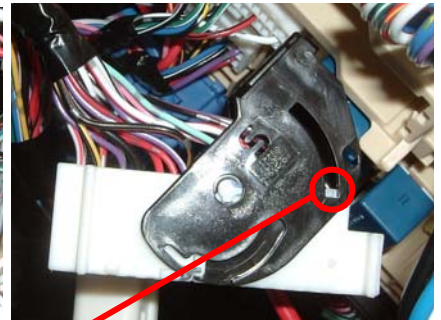
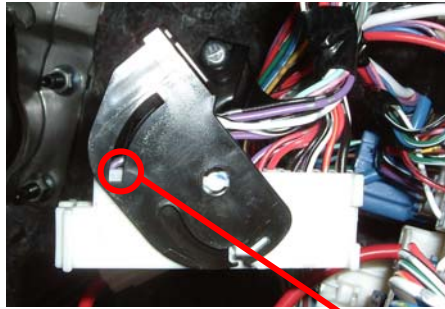


レバー

メーカー	スズキ	車体型式	MF33S
車種	MRワゴン (MRワゴン エコ含む) プッシュスタート 装備車	年式	H23.1~H25.7
専用ハーネス	S-117 & SIM-001		

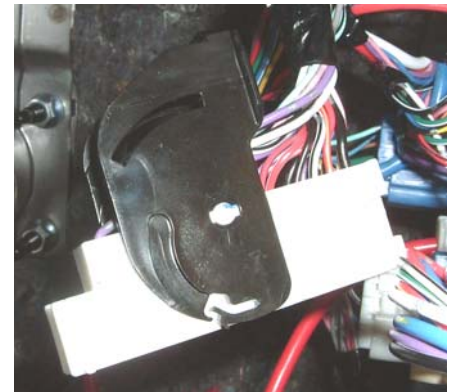
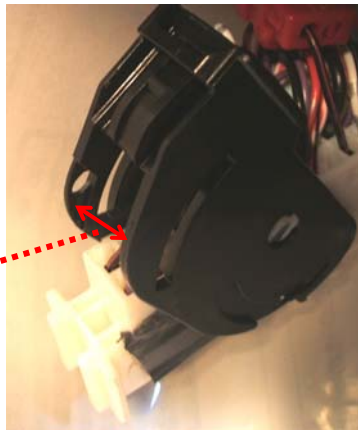
B. レバー部分をコネクタから外す

レバーの両側を広げてツメを外しながら、レバーを約90度まで起こします。



ツメ (左右両面に有ります)

左右に広げる
レバーの両側を広げてツメを外す。



約90度起きた状態

レバーを約90度まで起こしたら、レバーの側面 (左右) にあるカギ穴とコネクタのツメを合わせ、コネクタからレバーを外します。

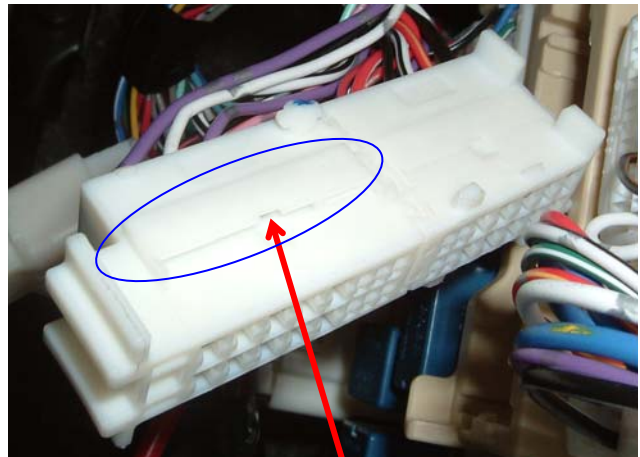


カギ穴

メーカー	スズキ	車体型式	MF33S
車種	MRワゴン (MRワゴン エコ含む) フッシュスタート装備車	年式	H23.1~H25.7
専用ハーネス	S-117 & SIM-001		

C. コネクタのリテーナーを浮かす

コネクタ側面にあるリテーナーに先の細い精密ドライバなどを押し当て、リテーナーを浮かせます。
(リテーナーを浮かせないとS-117の端子付き桃線がコネクタに差し込めません)



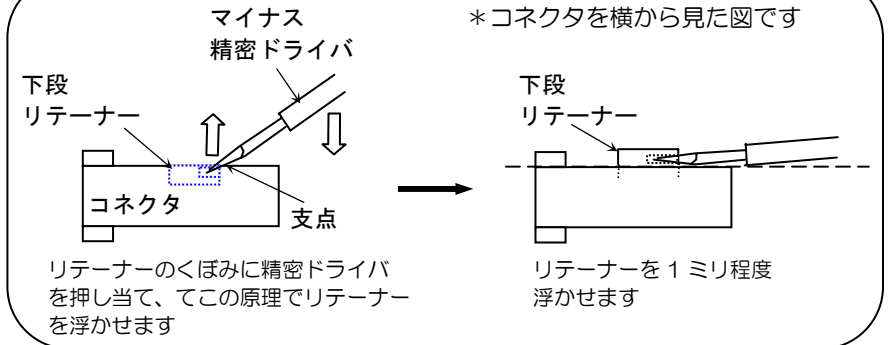
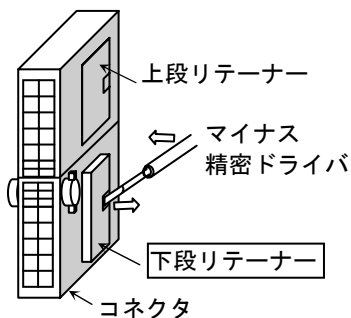
*青丸部分 下段リテーナー

この部分に精密ドライバなど先の細いものを押し当て、てこの原理でリテーナーを浮かせます。(1ミリ程度浮くようにします)

<注意事項>

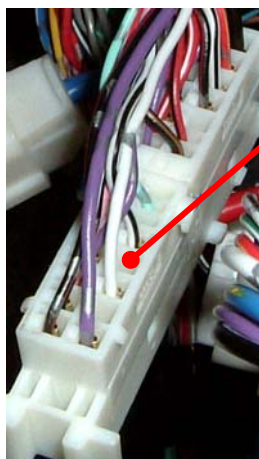
- ・無理に力を掛けしないでください。
リテーナーが破損する可能性があります。
- ・リテーナーは本来、コネクタから外れません。
コネクタから外れると元に戻りません。
- ・リテーナーを引っ張らないでください。

リテーナーの浮かせ方(てこの原理を使用した方法)

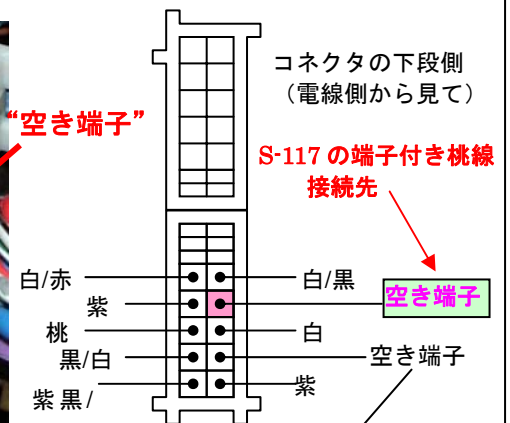


D. S-117の端子付き桃線をコネクタに接続する

右の写真(空き端子)の場所にS-117の端子付き桃線を差し込みます。
(端子付き桃線についている保護チューブを取り外してから差し込んでください)



“空き端子”



車輛装備品により配線の有無が異なる
空き端子になっている場合、
間違えないようご注意ください

S-117 端子付き桃線の接続

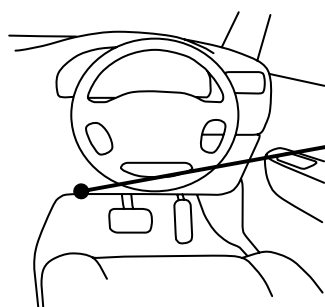
- ・端子位置、周りの配線色を確認し、
確実に作業を行ってください。
- ・端子の向きが合っていないとコネクタ
に挿入できません。
- ・「カチッ」と音がするまで差し込みます。
差し込んだ後、軽く引っ張り抜けにくい
ことを確認してください。

メーカー	スズキ	車体型式	MF33S
車種	MRワゴン (MRワゴン エコ含む) プッシュスタート装備車	年式	H23.1~H25.7
専用ハーネス	S-117 & SIM-001		

E. 外した手順と逆の手順で元に戻す

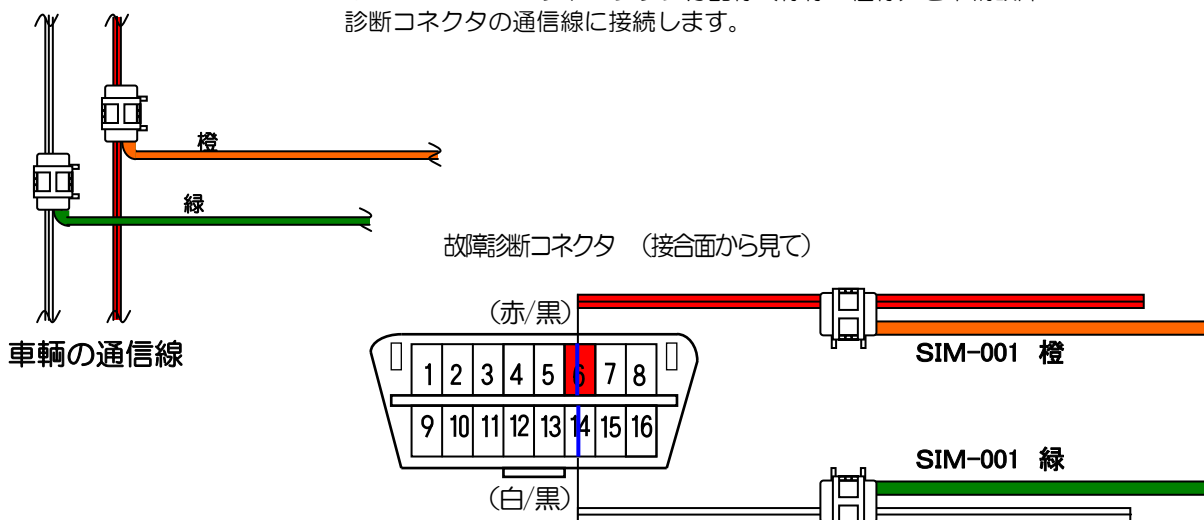
- ・リテナーを元に戻します。(浮かせたリテナーを押し込みます)
→リテナーが元に戻らない場合、配線が奥まで差し込まれていません。
- ・コネクタにレバーを取り付けます。
→取り外した手順と逆の手順でレバーを取り付けます。
- ・コネクタをヒューズボックスに取り付けます。
→取り付け後、軽くコネクタを引っ張り確実に接続されていることを確認します。

SIM-001の接続



ステアリング左下に故障診断コネクタがあり、故障診断コネクタの通信線にSIM-001の配線を接続します。

SIM-001 エレクトロタップ付配線 (緑線・橙線) を車輻故障診断コネクタの通信線に接続します。



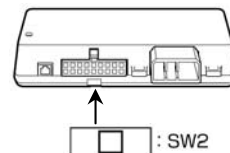
イモビ切替スイッチの切り替え、イモビ(ID)登録について

本機は、通電前にイモビ切替スイッチの切り替えを行い、通電後、P・ポジション検出とイモビ登録の順に操作を行います。
通電後にイモビ切替スイッチの切り替えを行った場合、正しくイモビ切替スイッチの認識ができないため、イモビの登録ができません。下記の順に操作を行ってください

イモビ切替スイッチの切り替え

ジャンクションユニットのイモビ切替スイッチを『2』に切り替えます。

必ずイモビ切替スイッチ切り替え後に、通電してください



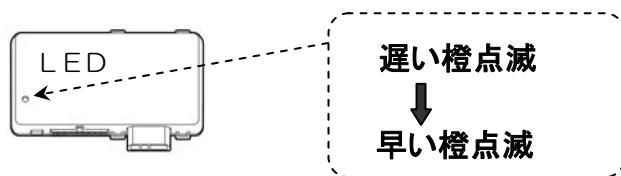
P・ポジションの検出

通電後、ジャンクションユニットから「PPP、PPP、PPP、…」と連続音が鳴ります。
連続音が鳴っている状態で、P・ポジション設定を行います。

(P・ポジション設定は、取付・接続説明書を参照いただき、操作を行ってください)

イモビ(ID)登録手順

- 1 LEDが橙点滅していることを確認し、プッシュスタートスイッチ操作でIG ONにします。
(電子キーを車輻に持ち込み、ブレーキペダルを踏まずにプッシュスタートスイッチを2回押すとIG ONになります)



- 2 LEDが遅い橙点滅から速い橙点滅に変化したら、10秒以内にプッシュスタートスイッチ操作でOFFに戻します。
(ブレーキペダルを踏まずにプッシュスタートスイッチを1回押すとOFFに戻ります)

*LEDが橙の速い点滅に変化後、10秒以上IG ONの状態が継続すると
LEDが赤点灯に変化しイモビIDの登録ができません。

(LEDが早い点滅に変化しない場合や赤点灯に変化した場合は、一度OFFに戻し、再度、手順1からやり直してください)

- 3 再度、プッシュスタートスイッチ操作でIG ONにします。
(ブレーキペダルを踏まずにプッシュスタートスイッチを2回押すとIG ONになります)

LEDが速い橙点滅→消灯に変化します。



- 4 プッシュスタートスイッチ操作でOFFに戻します。
(ブレーキペダルを踏まずにプッシュスタートスイッチを1回押すとIOFFに戻ります)

以上で登録作業は完了です。リモコン操作でエンジン始動の確認をしてください。